福岡武道館の管理、運営に関する規則新旧対照表

昭和54年3月29日
福岡県公安委員会規則第6号

(改正部分は、下線部分である。)

旧	新
<p>(趣旨)</p> <p>第1条 この規則は、福岡武道館条例(昭和54年福岡県条例第10号。以下「条例」という。)第7条の規定に基づき福岡武道館(以下「武道館」という。)の管理、運営に関し、必要な事項を定める。</p> <p><u>(開館時間)</u></p> <p>第2条 武道館の開館時間は、午前9時から午後9時までとする。ただし、福岡武道館長(以下「館長」という。)が必要と認めるときは、これを変更することができる。</p> <p><u>(休館日)</u></p> <p>第3条 武道館の休館日は、次のとおりとする。ただし、館長が必要と認めるときは、これを<u>変更し、又は臨時に休館することができる</u>。</p> <p>。</p> <p>(1) 毎週火曜日(火曜日が祝日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に定める祝日をいう。)の場合はその翌日)</p>	<p>(趣旨)</p> <p>第1条 この規則は、福岡武道館条例(昭和54年福岡県条例第10号。以下「条例」という。)第9条の規定に基づき福岡武道館(以下「武道館」という。)の管理、運営に関し、必要な事項を定める。</p> <p><u>(休館日)</u></p> <p>第2条 武道館の休館日は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 毎週火曜日(火曜日が祝日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に定める祝日をいう。)の場合は、その日後においてその日に最も近い休日でない日)</p> <p>(2) 12月29日から翌年1月3日まで</p> <p>2 前項の規定にかかわらず、指定管理者が必要があると認めるときは、あらかじめ福岡武道館長(以下「館長」という。)の承認を受けて、武道館の休館日を変更し、又は別に定めることができる。</p> <p>3 前2項の規定にかかわらず、館長が必要と認めるときは、臨時に休館し、又は開館することができる。</p> <p><u>(開館時間)</u></p> <p>第3条 武道館の開館時間は、午前9時から午後9時までとする。</p> <p>2 前項の規定にかかわらず、指定管理者が必要があると認めるときは、あらかじめ館長の承認を受けて、武道館の開館時間を変更することができる。</p> <p>3 前2項の規定にかかわらず、館長が必要と認めるときは、武道館の開館時間を変更する</p>

(2) 12月29日から翌年1月3日まで

(利用の承認)

第4条 武道館を利用しようとする者は、福岡武道館使用承認申請書（様式第1号。以下「承認申請書」という。）を公安委員会に提出しなければならない。ただし、個人使用の場合においては、福岡武道館個人使用券（様式第2号。以下「使用券」という。）の買い求めによって使用承認申請があったものとみなす。

2 前項の規定による承認申請書の提出は、利用しようとする日の90日前から7日前までの間に行わなければならない。ただし、年間計画を立てて行う団体については、6月前であってもこれを行うことができる。

3 条例第2条に規定する利用の承認は、占有使用の場合にあつては福岡武道館使用承認書（様式第3号。以下「使用承認書」という。）を、個人使用にあつては使用券を交付して行う。

(超過使用料等)

第5条 条例第3条別表備考4の公安委員会規則で定める使用料は、次のとおりとする。

(1) 条例第3条別表に掲げる使用時間を超えて武道場及び弓道場を利用する場合 別表第1に定める額

(2) 武道場の一部を占有使用する場合 条例第3条別表に定める使用料の額に武道場総面積に占める占有使用する面積の割合を乗じて得た額

(3) 弓道場の一部を占有使用する場合 条例第3条別表に定める使用料の額に弓道場総的数に占める占有使用する的数の割合を乗じて得た額

2 条例第3条別表備考5の公安委員会規則で定める使用料は、別表第2のとおりとする。

(使用料の徴収時期及び使用券)

ことができる。

【廃止】

【廃止】

第6条 使用料の徴収時期は、武道場又は弓道場の利用の承認をするときとする。ただし、国又は地方公共団体が利用する場合は、この限りでない。

2 前項の規定にかかわらず、第5条の超過使用料等は、武道場又は弓道場を利用した後に徴収する。

3 第1項の規定により個人使用料を納付した者には、現金領収証に代えて使用券を交付する。

(使用料の還付)

第7条 条例第4条ただし書の規定により使用料を還付することができる場合は、次の各号に定める場合とし、その額は、当該各号に定める額とする。

(1) 天災、地変その他不可抗力によって武道場又は弓道場を利用できなくなった場合
使用料の額の全額

(2) 武道場又は弓道場の利用申込みをした者が、利用の日から5日前までに取消しを申し出た場合
使用料の額の50パーセントに相当する額

(3) 前二号に掲げるもののほか、公安委員会が特に必要と認めた場合
使用料の額の全額

(使用料の減免)

第8条 条例第5条の規定により使用料を減額し、又は免除することができる場合及びその額は、別表第3のとおりとする。ただし、占有使用において利用者が入場料を徴収し、又はこれに類する取扱いをする場合は、この限りでない。

2 前項に規定する使用料の減額又は免除（以下「減免」という。）を受けようとする者（別表第3の3の項から7の項までに定める者を除く。）は、使用料減免申請書（様式第4号）を公安委員会に提出し、その承認を受け

【廃止】

【廃止】

【廃止】

なければならない。

第9条 館長は、武道館の設置目的を達成するため、武道関係団体等の有識者の意見を聴取するよう努めなければならない。

2 前項の目的を達するため必要な事項は、警察本部長が別に定める。

【追加】

【追加】

第10条 (略)

別表第1 (第5条関係)

1 武道場又は弓道場を占有使用する場合の
超過使用料

時間区分	算定基準使用料	超過時間	超過使用料
午前7時から	条例別表に掲げる午前9時から正午までの使用料の額	1時間以内	50%に相当する額
午前9時まで		1時間を 超え2時間以内	100%に相当する額
正午から午後5時まで	条例別表に掲げる午後1時から午後5時までの使用料	1時間以内	25%に相当する額
		1時間を 超え2時間以内	50%に相当する額

第4条 館長及び指定管理者は、武道館の設置目的を達成するため、武道関係団体等の有識者の意見を聴取するものとする。

2 前項の規定による意見の聴取に関し必要な事項は、警察本部長が別に定める。

(申請書及び添付書類)

第5条 条例第5条第1項の公安委員会規則で定める申請書は、別記様式によるものとする。

2 条例第5条第1項第2号の公安委員会規則で定める書類は、次に掲げる書類とする。

(1) 団体の事業及び活動内容に関する書類

(2) 団体の財務状況に関する書類

(3) 前2号に掲げるもののほか、公安委員会が必要と認める書類

(管理及び利用の手続)

第6条 武道館の管理及び利用の手続については、条例及びこの規則で定めるもののほか、指定管理者が公安委員会の承認を受けて別に定めるところによる。

第7条 (略)

【廃止】

	の額	2時間を 超える場 合	100%に相当 する額
午後5 時から	条例別表 に掲げる午 内	1時間以 内	25%に相当す る額
午後9 時まで	後6時から 午後9時ま での使用料 の額	1時間を 超え2時 間以内	50%に相当す る額
		2時間を 超える場 合	100%に相当 する額

2 武道場又は弓道場を個人使用する場合の
超過使用料

時間区分	超過使用料
1時間未 満	条例別表に掲げる使用料の額の50 %に相当する額
1時間以 上2時間 以内	条例別表に掲げる額

(廃止のため下線省略)

別表第2 (第5条関係)

【廃止】

区分	使用料
冷暖房	実費相当額

(廃止のため下線省略)

別表第3 (第8条関係)

【廃止】

	減免することができる場合	減免の額
1	県教育委員会又は市町村教育 委員会が体育に関する指導者 の研修、競技会等の行事に使 用する場合	使用料の額の 50%に相当 する額
2	学校教育法(昭和22年法律 第26号)第1条に規定する 学校(大学及び高等専門学校 を除く。)が、体育の学習指 導又は学校行事に使用する場 合	使用料の額の 50%に相当 する額
3	身体障害者福祉法(昭和24	個人使用の場

	年法律第283号)第15条に規定する身体障害者手帳の交付を受けている者が使用する場合	合の使用料の額の全額
4	療育手帳の交付を受けている者が使用する場合	個人使用の場合の使用料の額の全額
5	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)第45条に規定する精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者が使用する場合	個人使用の場合の使用料の額の全額
6	福岡県男女共同参画センター、福岡県人権啓発情報センター及び福岡県総合福祉センターの設置及び管理に関する条例施行規則(平成8年福岡県規則第55号。以下この項において「施行規則」という。)第9条第5号に規定する身体障害者、4の項に定める者又は施行規則第9条第5号に規定する精神障害者とその介護人が使用する場合	個人使用の場合の使用料の額の全額
7	65歳以上の者が使用する場合	個人使用の場合の使用料の額の全額
8	公安委員会又は警察本部長が、武道館の設置目的を達成するために使用する場合	使用料の額の全額
9	その他公安委員会が特に必要と認めた場合	使用料の額の全額

(廃止のため下線省略)

様式第1号(第4条関係)

福岡武道館使用承認申請書						受付番号 (第 号)			
使用目的						年	月	日	受付
使用日	時	区分	柔道場	剣道場	弓道場	相撲場	使用料金	収入 確認者	調定 月日
年 月 日 (曜日) 時から 時まで	開始	時分	時分	時分	時分	時分	円		月 日
	終了								
年 月 日 (曜日) 時から 時まで	開始	時分	時分	時分	時分	時分	円		月 日
	終了								
年 月 日 (曜日) 時から 時まで	開始	時分	時分	時分	時分	時分	円		月 日
	終了								
年 月 日 (曜日) 時から 時まで	開始	時分	時分	時分	時分	時分	円		月 日
	終了								
入場予定人員		人							
選手・役員予定人員		人							
主催・共催後援団体名									
<p>上記のとおり使用の承認を申請します。 なお、使用に際しては福岡武道館条例、福岡武道館の管理、運営に関する規則及びこれらに基づく武道館職員の指示に従います。</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>福岡県公安委員会 殿</p> <p style="text-align: right;">申請者住所 氏 名 (団体の場合は団体名及び責任者氏名) (電話)</p>									

備考 太枠内は、記入しないでください。

(A4)

【廃止】

(廃止のため下線省略)

様式第2号 (第4条関係)

(表 面)

第 号 福岡武道館個人使用券 (施設名) { 一般 / 高校生 / 小・中学生 } 使用料 円 超過使用料 円 年 月 日 福岡県公安委員会	(有効時間) 第 号 年 月 日 福岡武道館個人使用券 (施設名) { 一般 / 高校生 / 小・中学生 } 使用料 円 使用時間 2時間 超過使用料 円 福岡県公安委員会 (退場時間)	↑ 58mm ↓
← 95mm →		

【廃止】

(裏 面)

	1 利用者心得及び係員の指示は必ず守ってください。 2 火災、盗難、人身事故その他の事故防止には各自努めてください。なお、利用者心得又は係員の指示に従わず発生した事故については、館としては一切責任を負いません。 3 使用時間は、入場時から2時間です。 4 この券は、1人1回当日限り有効です。 5 この券は、お帰りまで大切に保存し、出口で係員にお渡しください。
--	--

備考 利用施設によって、柔道場は桃色、剣道場は黄色、弓道場は青色の用紙に印刷する。

(廃止のため下線省略)

様式第3号 (第4条関係)

福岡武道館使用承認書						承認番号 (第 号)
使用目的						年 月 日交付
使用日時	区分	柔道場	剣道場	弓道場	相撲場	使用料金
年 月 日 (曜日) 時から 時まで	開始	時分	時分	時分	時分	円
	終了					
年 月 日 (曜日) 時から 時まで	開始	時分	時分	時分	時分	円
	終了					
年 月 日 (曜日) 時から 時まで	開始	時分	時分	時分	時分	円
	終了					
年 月 日 (曜日) 時から 時まで	開始	時分	時分	時分	時分	円
	終了					
入場予定人員		人				
選手・役員予定人員		人				
主催・共催後援団体名						
上記のとおり次の条件で使用を承認します。						
承認の条件						
殿						年 月 日
						福岡県公安委員会 印

【廃止】

(廃止のため下線省略)

様式第4号(第8条関係)

使用料減免申請書

年 月 日

福岡県公安委員会 殿

住所
申請人 氏名 又は名称及び代表者

下記のとおり使用料の減額(免除)を受けたいので申請します。

記

1 使用施設の種類

2 使用の日時又は期間

3 使用の目的

4 申請理由

(A4)

(廃止のため下線省略)

【追加】

【廃止】

別記様式(第5条関係)

別添のとおり

別記様式(第5条関係)

指定管理者指定申請書

年 月 日

福岡県公安委員会 殿

(申請者)

主たる事務所の所在地

団体名称

代表者氏名

福岡武道館条例第5条の規定により、指定管理者の指定を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

公の施設の名称	
公の施設の所在地	
担当部署名	
担当者職名・氏名	
担当者連絡先	